

## 奄美大島笠利町佐仁方言の動詞・形容詞の活用

白田 理人（志學館大学） 重野 裕美（広島経済大学）

## 1 奄美大島笠利町佐仁方言の概要

鹿児島県奄美大島佐仁方言（以降佐仁方言）は、奄美大島の北端の佐仁（さに）集落（鹿児島県大島郡奄美市笠利町佐仁、旧大島郡笠利町）で話される（以下地図<sup>i</sup>参照）。奄美市役所発行の資料によれば、2019年1月現在の佐仁集落の人口は266人（169世帯）である。

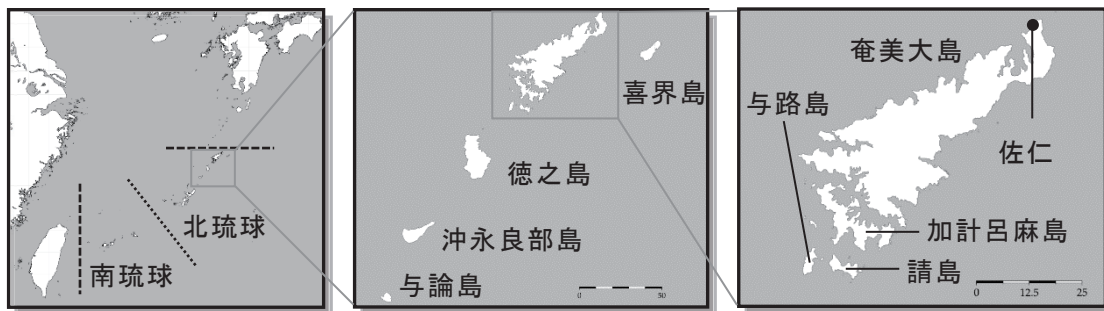


図 1 琉球列島／奄美群島／奄美大島／佐仁集落の位置

佐仁方言を流暢に話すのは主に 65～70 歳以上である。地域における方言継承に関わる活動として、現在、小学校の朝の朗読・給食時・学習発表会におけるあいさつが方言で行われており、また小学生及び PTA による伝統的な八月踊りの継承活動が行われている。また、奄美市笠利町中金久にある大島北高等学校では 2014 年から高校生が地元のお年寄りを訪問し、昔の暮らしを記述する「聞き書き調査」を実施し、報告書としてまとめ発行している。

佐仁方言の先行研究として、語彙集（狩俣 2003）、アクセント付き名詞・用言資料集（上野 1996・1997）、敬語形式の報告（重野 2014, 重野・白田 2018）、モーラー覧・格助詞と取り立て助詞の文例・童謡「おおきなかぶ」の方言訳（白田 2018）がある。佐仁方言は近隣の方言との差が大きく、「言語の島」と言われており、先行研究では主な特徴<sup>ii</sup>として両唇破裂音の保持（例 [pana]「花」、[pidʒi]「肘」、[puni]「船」）、語頭で広母音、半広母音に遡る母音の前での k の摩擦音化（例：[hata]「肩」、[xibufi]「煙」、[hufi]「腰」）、母音間の m の弱化／脱落及び鼻母音化（例：[jaã] ~ [ja:]「山」）が指摘されている<sup>iii</sup>（狩俣 2003, 上野 1996, 1997 参照）。

以下、2 節で本稿に用いる表記と分析の方針について示した上で、3 節で動詞、4 節で形容詞について記述する。補足資料として、会話例を示す。データは筆者の調査<sup>iv</sup>に基づく。

## 2 表記及び分析方針

### 2.1 音韻体系と表記

以下表 1, 2 に、本稿で用いる表記<sup>v</sup>により、佐仁方言の音素一覧を示す。[ ]内は音声実現である。

表 1 母音音素

	前		後
狭	i	ĩ	u
	e	ë	o
広			a

表 2 子音音素

調音方法		調音点	両唇	歯茎	歯茎硬口蓋 ～硬口蓋	軟口蓋～声門
破裂音	無声	非喉頭化	p[p~pʲ]	t		k[k~x~kʲ~ç]
		喉頭化	p'[pʔ~pʔʲ]	t'[tʔ]		k'[kʔ~kʔʲ]
	有声	b[b~bʲ]	d		g[g~gʲ]	
破裂音	無声	非喉頭化		ts[ts~tsʔ]	ch[tç]	
		喉頭化			c'h[tçʔ]	
摩擦音	無声			s[s~ç]	sh[ç]	h
	有声			z[z~dz]	[z~dz]	
鼻音	非喉頭化		m	n[n~m~ ɲ~ŋ~N]		
	喉頭化		m'[mʔ~mʔʲ]	n'[nʔ]		
		弾音		r[r~rʲ]		
接近音	非喉頭化		w		y[j]	
	喉頭化		w'[wʔ]		y'[jʔ]	

以下、母音・子音の音声実現と、音節構造・音素配列について述べる。

母音について、語頭母音の前には声門破裂音[ʔ]が挿入される（例：/isho/ [ʔiço] 「漁」、/au/ [ʔau] 「雨」、/o/ [ʔo] 「泡」、/ushi/ [ʔuçi] 「牛」）。狭母音 i, ĩ, u は、無声阻害音に挟まれる環境で無声化する（例：/cikyaka/ [tçikʲakʰa] 「近い」、/yasika/ [jasikʰa] 「安い」、/puturya/ [pʰuturja] 「稲光」）。また、語末で無声阻害音の後でも無声化することがある（例：/m'aci/ [mʔatsi] 「火」、/pyaku/ [pʰakû] 「百」、/poki/ [pʰoki] 「箒」）。音声上の長母音、二重母音は、短母音の連続として解釈する（例：nuuna [nu:na] 「飲むな」、hai [hai] 「買い

(不定形)」。なお、先行研究で報告されていた鼻母音は、筆者の調査した話者 (S8～S18 年生) では見られなかった (注 iii 参照)。

子音について、i, y の前では口蓋化して実現する (例: /min/ [m<sup>h</sup>in] 「耳」、/asibyun/ [ʔasib<sup>h</sup>yun] 「遊ぶ」)。有声摩擦音 z, j は母音間以外では破擦音として実現する (例: /zĩn/ [d<sup>h</sup>zĩn] 「金銭」、/zyoo/ [dzo:] 「斧」)。両唇／軟口蓋破裂音 (喉頭化音を除く) は母音間では摩擦音として実現することがある (例: /makika/ [max<sup>h</sup>ik<sup>h</sup>a] 「大きい」、/təpu/ [t<sup>h</sup>əp<sup>h</sup>u] 「台風」)。n は後続する子音に調音点が同化して実現し、語末では [n] となる。喉頭化／非喉頭化の対立について、語頭では対立を持つすべての子音対立が見られるが、語中での対立は単子音の両唇／軟口蓋無声破裂音に限られ、重子音及び破擦音、鼻音では対立が中和している。また、母音が無声化する環境では先行する阻害音の喉頭化／非喉頭化の対立が中和し、非喉頭化音のみが分布する (例: kicya [k<sup>h</sup>i<sup>h</sup>t<sup>h</sup>ca] 「着た」 cf. k'iryun [k<sup>h</sup>ʔir<sup>h</sup>yun] 「着る」)。対立が中和する環境では、音声上は喉頭化音が現れる場合でも、非喉頭化音で表記する。

音節構造は子音を C、半母音を S、母音を V とすると (C)(S)V(V)(C) である。S には y, w が分布する。半母音 w の前には軟口蓋破裂音のみが分布する。半母音 y の前には両唇／軟口蓋破裂音 (p, p', b, k, k', g)、両唇／歯茎鼻音 (m, n, n') と r が分布する。語末の音節末子音には鼻音 n のみが現れる。語中の音節末子音は後続子音と調音点が同じ子音に限られる。語境界、複合境界は音節境界に、接語境界は音節境界または音節核と音節末子音の境界に一致する。

## 2.2 形態音韻論的分析の方針

語幹と接辞の形態素境界に生じる交替について、本稿では、規則ではなく分布による説明を採る。異形態交替分析の方針は以下の通りである。

- A) 可能であれば、音声的な条件による接辞の異形態として説明する。
- B) A で説明できない場合、一つの動詞に語幹を複数認め、接辞によってどの語幹につくかが決まっていると考える。語幹末音の交替によって動詞クラスを立てる。
- C) A, B のどちらでも説明できない場合は、動詞クラスの上位分類として動詞タイプを認め、動詞タイプごとに接辞の異形態が決まっていると考える。

A について、例えば、以下(1)のような語例に対して、(2)のように語幹を設定し、(3)のように語幹末音にしたがって接辞の異形態の分布が決まっていると説明する。

- (1) a. 「置く」—命令形: uk-i 「置け」、非過去形 uk-yun 「置く」
- b. 「売る」—命令形: ur-i 「売れ」、非過去形 ur-yun 「売る」
- c. 「浴びる」—命令形: au-rī 「浴びろ」、非過去形 au-n 「浴びる」
- d. 「降りる」—命令形: uri-rī 「降りろ」、非過去形 uri-n 「降りる」

- (2) 語幹—a. 「置く」 uk-、b. 「売る」 ur-、c. 「浴びる」 au-、d. 「降りる」 uri-

- (3) 接辞異形態— a. 命令接辞—異形態  $\bar{i}/r\bar{i}$ 、子音の後に  $\bar{i}$ 、母音の後に  $r\bar{i}$  が分布  
 b. 非過去接辞—異形態  $yun/n$ 、母音の後に  $n$ 、子音の後に  $yun$  が分布

B について、例えば、以下(4)のような語例に対して、(共時的には)隣接する音の条件から異形態の分布を説明できないため、(5)のように語幹を複数設定し、(6)のように接辞によってつく語幹が決まっていると説明する。

- (4) a. 「売る」—非過去形  $ur-yun$  「売る」、過去形  $ut-a$  「売った」  
 b. 「飛ぶ」—非過去形  $tub-yun$  「飛ぶ」、過去形  $tud-a$  「飛んだ」  
 c. 「置く」—非過去形  $uk-yun$  「置く」、過去形  $ush-a$  「置いた」  
 d. 「吹く」—非過去形  $puk-yun$  「吹く」、過去形  $puch-a$  「吹いた」  
 e. 「漕ぐ」—非過去形  $hug-yun$  「漕ぐ」、過去形  $huj-a$  「漕いだ」

- (5) 語幹 X— a. 「売る」  $ur-$ 、 b. 「飛ぶ」  $tub-$ 、 c. 「置く」  $uk-$ 、  
 d. 「吹く」  $puk-$ 、 e. 「漕ぐ」  $hug-$   
 語幹 Y— a. 「売る」  $ut-$ 、 b. 「飛ぶ」  $tud-$ 、 c. 「置く」  $ush-$ 、  
 d. 「吹く」  $puch-$ 、 「漕ぐ」  $huj-$   
 語幹クラス— a. 「売る」  $r/t$  クラス、 b. 「飛ぶ」  $b/d$  クラス、 c. 「置く」  $k/sh$  クラス、  
 d. 「吹く」  $k/ch$  クラス、 e. 「漕ぐ」  $g/j$  クラス

- (6) 語幹と接辞の関係— a. 非過去接辞—語幹 X につく  
 b. 過去接辞—語幹 Y につく

C について、例えば、以下(7a)のような語例は、(子音脱落の音変化により、) A の例外となっており、B でも説明できない。このため、動詞クラスの上位概念として動詞タイプを立て、動詞タイプにしたがって接辞が分布していると考ええる。

- (7) a. 「飲む」—命令形： $nu-\bar{i}$  「飲め」、非過去形  $nu-yun$  「飲む」  
 b. 「浴びる」—命令形： $au-r\bar{i}$  「浴びろ」、非過去形  $au-n$  「浴びる」  
 (8) 動詞タイプ— a. 「飲む」 X タイプ、 b. 「浴びる」 Y タイプ  
 (9) 接辞異形態— a. 命令接辞—X タイプの動詞に  $\bar{i}$ 、Y タイプに  $r\bar{i}$  がつく  
 b. 非過去接辞—X タイプの動詞に  $\bar{i}$ 、Y タイプに  $r\bar{i}$  がつく

### 3 動詞

#### 3.1 動詞クラス・動詞タイプと活用語例

規則動詞として4タイプ、28クラスの動詞を認め、語幹としてA～Eの5つを認める<sup>vi</sup>。A語幹が分かれば、B/C/D語幹は一意に決まるが、E語幹は決まらない場合がある。このため、A語幹とE語幹が異なる場合、動詞クラスの名称は「A語幹末/E語幹末」とし、そ

うでない場合は「A 語幹末」とする。以下表 3 に、動詞タイプによって接辞の異形態が生じる例を示し、表 4 に、語幹の異同パターンの例を示す。表 5 に、タイプ/クラスの一覧を示す。表 5 の A~E 語幹にはクラスに共通する部分のみ示し、それ以外の部分を X とする。母音は V で代表させて示す。V<sub>i</sub>V<sub>i</sub> は同母音連続（音声上の長母音）である。語例が得られていない部分は一で示している。表 6~表 15 に、不規則動詞を含めて否定形（～しない）、意志形（～しよう）、命令形（～しろ）、禁止形（～するな）、非過去形（～する）、不定形（～し）、過去形（～した）の活用語例を示す。不定形は「～もしない（X=daka sīran、X=n sīraN、X=ni sīraN）」の形で採取した。一は未調査または語形が得られていない。特に非過去形（2）は未調査の動詞が多いが、不規則動詞で語幹の母音長が非過去（1）と異なる場合があるため載せている。

表 3 タイプによる接辞の違い

タイプ	意味	不定	非過去	禁止
I	「飛ぶ」	tub-i	tub-yun	tub-una
I	「飲む」	nu-i	nu-yun	nu-una
II	「売る」	ur-i	ur-yun	u-nna
III	「召し上がる」	misho-i	misho-n	misho-nna
IV	「降りる」	urī-φ	urī-n	urī-nna
IV	「浴びる」	au-φ	au-n	au-nna

表 4 語幹の異同パターン

パターン	語幹	A	B	C	D	E
	意味	否定	命令	禁止	非過去	過去
ABCDE	降りる	urī-raN	urī-rī	urī-nna	urī-n	urī-ta
ABDE/C	開ける	y'ee-ran	y'ee-rī	y'e-nna	y'ee-n	y'ee-ta
ABCD/E	飛ぶ	tub-an	tub-i	tub-una	tub-yun	tud-a
ABC/D/E	持つ	mut-an	mut-ī	mut-una	much-un	mucch-a
ABD/C/E	座る	yir-an	yir-i	yi-nna	yir-yun	yish-a
A/BCD/E	買う	haw-an	ha-u	ha-una	ha-yun	haut-a

表 5 タイプ/クラス一覧

タ	ク	A	B	C	D	E	語幹異同	語例 (A 語幹・意味)
I	b/d	Xb-				Xd-	ABCD/E	tub-「飛ぶ」、 tamb-「頼む」
	w/t	Xw-	X-			Xt-	A/BCD/E	araw-「洗う」、 k'u-w-「閉める」
	aw/aut	Xaw-	Xa-			Xaut-	A/BCD/E	haw-「買う」
	w/d	Xw-	X-			Xd-	A/BCD/E	ugaw-「拝む」、 nuw-「飲む」
	a/ad	Xa-				Xad-	ABCD/E	ka-「食べる」
	t/cch	Xt-			Xc-	Xcch-	ABC/D/E	mut-「持つ」
	s/sh	Xs-			Xsh-	Xsh-	ABCDE	pus-「干す」
	n/j	Xn-				Xj-	ABCD/E	sin-「死ぬ」
	k/s	Xk-				Xsh-	ABCD/E	yak-「焼く」、 mank-「招く」
	k/ch	Xk-				Xch-	ABCD/E	kik-「聞く」、 akk-「歩く」
	k/j	ik-				ij-	ABCD/E	ik-「行く」
	g/j	Xg-				Xj-	ABCD/E	hug-「漕ぐ」
II	r/t	Xr-		X-	Xr-	Xt-	ABD/C/E	war-「割る」
	V <sub>i</sub> V <sub>i</sub> r/V <sub>i</sub> V <sub>i</sub> t	V <sub>i</sub> V <sub>i</sub> r-		V <sub>i</sub> -	V <sub>i</sub> V <sub>i</sub> r-	V <sub>i</sub> V <sub>i</sub> t-	ABD/C/E	noor-「登る」
	ir/sh	Xir-		Xi-	Xir-	Xis-	ABD/C/E	nir-「煮る」
	ir/ch	Xir-		Xi-	Xir-	Xich-	ABD/C/E	pashir-「走る」
	kir/ch	Xk'ir-		Xk'u-	Xk'ir-	Xk'ich-	ABD/C/E	k'ir-「着る」
	r/cch	Xir-		Xi-	Xir-	Xicch-	ABD/C/E	ir-「入る」
	bir/pich	Xbir-		Xbi-	Xbir-	Xpich-	ABD/C/E	k'ubir-「括る」
	bur/put	Xbur-		Xbu-	Xbur-	Xput-	ABD/C/E	habur-「被る」
	tsir/sit	Xtsir	—	—	Xtsir	Xsit-	A/C/E	utsir-「分かる」
	gir/kich	Xgir-		Xgi-	Xgir-	Xkich-	ABD/C/E	nigir-「握る」
gur/kut	Xgur-		Xgu-	Xgur-	Xkut-	ABD/C/E	mugur-「回る」	
III	or/osh	Xor-		Xo-	Xo-	Xosh-	ABCD/E	misho-「召し上がる」
	oor/oosh	oor-		o-	oo-	oosh-	ABCD/E	oo-「行く／来る(尊敬)」
	oor/oot	oor-		o-	oo-	oot-	A/BCD/E	oo-「居る(尊敬)」
IV	V	XV-					ABCDE	uri-「降りる」
	ViVi	XViVi-		XVi-	XViVi-		ABDE/C	y'ee-「開ける」

表 6 動詞活用語例 (クラスごと) ①

	語幹分類	A	B	B	C
クラス	意味	否定	意志	命令	禁止
b/d	飛ぶ	tub-an	tub-o	tub-ī	tub-una
b/d	遊ぶ	asīb-an	asīb-o	asīb-ī	asīb-una
b/d	畳む	tak'ub-an	tak'ub-o	tak'ub-ī	tak'ub-una
b/d	頼む	tamb-an	tamb-o	tamb-ī	tamb-una
b/d	包む	tsimb-an	tsimb-o	tsimb-ī	tsimb-una
w/t	洗う	araw-an	ara-o	ara-u	ara-una
w/t	歌う	utaw-an	uta-o	uta-u	uta-una
w/t	使う	sīkaw-an	sīka-o	sīka-u	sīka-una
w/t	飼う	sīkanaw-an	sīkana-o	sīkana-u	sīkana-una
w/t	思う	oow-an	—	oo-u	oo-una
w/t	追う	uw-an	u-o	u-ī	u-una
w/t	閉める	k'uw-an	k'u-o	k'u-ī	k'u-una
w/ut	会う	aw-an	a-o	a-u	a-una
w/ut	買う	haw-an	ha-o	ha-u	ha-una
w/ut	縫う	naw-an	na-o	na-u	na-una
w/ut	這う	paw-an	—	—	—
w/ut	編む	aw-an	a-o	a-u	a-una
w/d	拝む	ugaw-an	uga-o	uga-u	uga-una
w/d	孕む	panaw-an	—	—	—
w/d	飲む	nuw-an	nu-o	nu-ī	nu-una
w/d	積む	tsuw-an	tsu-o	tsu-ī	tsu-una
w/d	履く	k'uw-an	k'u-o	k'u-ī	k'u-una
w/d	盗む	nusuw-an	nusu-o	nusu-ī	nusu-una
w/d	喜ぶ	yuruk'uw-an	yuruk'u-o	yuruk'u-ī	—
a/ad	食べる	ka-n	ka-o	ka-u	ka-una
a/ad	痛い	ya-n	—	—	—

表 7 動詞活用語例（クラスごと）②

	語幹分類	D	D	D	E	E
クラス	意味	非過去 1	非過去 2	不定形	過去 1	過去 2
b/d	飛ぶ	tub-yun	—	tub-i	tud-a	tud-ī
b/d	遊ぶ	asīb-yun	asīb-yuri	asīb-i	asīd-a	asīd-ī
b/d	畳む	tak'ub-yun	—	tak'ub-i	tak'ud-a	tak'ud-ī
b/d	頼む	tamb-yun	—	tamb-i	tand-a	tand-ī
b/d	包む	tsīmb-yun	—	tsīmb-i	tsīnd-a	tsīnd-ī
w/t	洗う	ara-yun	—	ara-i	arat-a	arat-ī
w/t	歌う	uta-yun	—	uta-i	utat-a	utat-ī
w/t	使う	sīka-yun	—	sīka-i	sīkat-a	sīkat-ī
w/t	飼う	sīkana-yun	—	sīkana-i	—	—
w/t	思う	oo-yun	—	oo-i	oot-a	oot-ī
w/t	追う	u-yun	—	u-i	ut-a	ut-ī
w/t	閉める	k'u-yun	—	k'u-i	k'ut-a	k'ut-ī
w/ut	会う	a-yun	—	a-i	aut-a	aut-ī
w/ut	買う	ha-yun	—	ha-i	haut-a	haut-ī
w/ut	縫う	na-yun	—	na-i	naut-a	naut-ī
w/ut	這う	pa-yun	—	pa-i	paut-a	paut-ī
w/ut	編む	a-yun	—	a-i	aut-a	aut-ī
w/d	拝む	uga-yun	—	uga-i	ugad-a	ugad-ī
w/d	孕む	pana-yun	—	pana-i	panad-a	panad-ī
w/d	飲む	nu-yun	—	nu-i	nud-a	nud-ī
w/d	積む	tsu-yun	—	tsu-i	tsud-a	tsud-ī
w/d	履く	k'u-yun	—	k'u-i	k'ud-a	k'ud-ī
w/d	盗む	nusu-yun	—	nusu-i	nusud-a	nusud-ī
w/d	喜ぶ	yuruk'u-yun	—	yuruk'u-i	yuruk'ud-a	yuruk'ud-ī
a/ad	食べる	ka-yun	ka-yuri	ka-i	kad-a	kad-ī
a/ad	痛い	ya-yun	—	ya-i	yad-a	yad-ī



表 8 動詞活用語例 (クラスごと) ③

	語幹分類	A	B	B	C
クラス	意味	否定	意志	命令	禁止
t/ch	持つ	mut-an	mut-o	mut-ī	mut-una
t/ch	待つ	mat-an	mat-o	mat-ī	mat-una
t/ch	勝つ	—	kat-o	kat-ī	—
s/sh	干す	pus-an	pus-o	pus-ī	pus-īna
s/sh	治す	noos-an	noos-o	noos-ī	noos-īna
s/sh	隠す	hakus-an	hakus-o	hakus-ī	hakus-īna
s/sh	落とす	utus-an	utus-o	utus-ī	utus-īna
s/sh	壊す	k'es-an	k'es-o	k'es-ī	k'es-īna
s/sh	移す	nawas-an	nawas-o	nawas-ī	nawas-īnaa
s/sh	降ろす	urus-an	urus-o	urus-ī	urus-īna
s/sh	生む	nas-an	—	—	—
n/j	死ぬ	shin-yan	shin-yo	shin-i	shin-yuna
k/sh	焼く	yak-an	yak-o	yak-ī	yak-una
k/sh	置く	uk-an	uk-o	uk-ī	uk-una
k/sh	梳かす	saak-an	saak-o	saak-ī	saak-una
k/sh	掃く	pok-an	pok-o	pok-ī	pok-una
k/sh	手招きする	mank-an	mank-o	mank-ī	—
k/sh	沈む	shink-yan	—	—	—
k/ch	聞く	kik-yan	kik-yo	kik-i	kik-yuna
k/ch	弾く	pik-yan	pik-yo	pik-i	pik-yuna
k/ch	突く	sik-an	sik-o	sik-ī	sik-una
k/ch	吹く	puk-an	—	—	—
k/ch	歩く	akk-an	akk-o	akk-ī	akk-una
k/ch	解く	pukk-an	pukk-o	pukk-ī	pukk-una
k/ch	沈む	shikk-yan	—	—	—
k/j	行く	ik-yan	ik-yo	ik-i	ik-yuna

表 9 動詞活用語例 (クラスごと) ④

	語幹分類	D	D	D	E	E
クラス	意味	非過去 1	非過去 2	不定形	過去 1	過去 2
t/cch	持つ	much-un	—	much-i	mucch-a	mucch-i
t/cch	待つ	mach-un	—	mach-i	macch-a	macch-i
t/cch	勝つ	kach-un	—	kach-i	kacch-a	kacch-i
s/sh	干す	push-un	—	push-i	push-a	push-i
s/sh	治す	noosh-un	—	noosh-i	noosh-a	noosh-i
s/sh	隠す	hakush-un	—	hakush-i	hakush-a	hakush-i
s/sh	落とす	utīsh-un	—	usīsh-i	utīsh-a	utīsh-i
s/sh	壊す	k'esh-un	—	k'esh-i	k'esh-a	k'esh-i
s/sh	移す	nawash-un	—	nawash-i	nawash-a	nawash-i
s/sh	降ろす	urush-un	—	urush-i	urush-a	urussh-i
s/sh	生む	nash-un	—	nash-i	nash-a	nash-i
n/j	死ぬ	shin-yun	—	shin-i	shij-a	shij-i
k/sh	焼く	yak-yun	—	yak-i	yash-a	yash-i
k/sh	置く	uk-yun	—	uki	ush-a	ush-i
k/sh	梳かす	saak-yun	—	saak-i	saash-a	saash-i
k/sh	掃く	pok-yun	—	pok-i	posh-a	posh-i
k/sh	招く	mank-yun	—	mank-i	mansh-a	mansh-i
k/sh	沈む	shink-yun	—	shink-i	shinsh-a	shinsh-i
k/ch	聞く	kik-yun	—	kik-i	kich-a	kich-i
k/ch	弾く	pik-yun	—	pik-i	pich-a	pich-i
k/ch	突く	sīk-yun	—	sīk-i	sīch-a	sīch-i
k/ch	吹く	puk-yun	—	puk-i	puch-a	puch-i
k/ch	歩く	akk-yun	—	akk-i	acch-a	acch-i
k/ch	解く	pukk-yun	—	pukk-i	pucch-a	pucch-i
k/ch	沈む	shikk-yun	—	shikk-i	shicch-a	shicch-i
k/j	行く	ik-yun	—	ik-i	ij-a	ij-i

表 10 動詞活用語例（クラスごと）⑤

	語幹分類	A	B	B	C
クラス	意味	否定	意志	命令	禁止
g/j	漕ぐ	hug-an	hug-o	hug-ī	hug-una
g/j	泳ぐ	oog-an	oog-o	oog-ī	oog-una
g/j	掴む	ming-yan	ming-yo	ming-i	ming-yuna
r/t	割る	war-an	war-o	war-ī	wa-nna
r/t	借りる	har-an	har-o	har-ī	ha-nna
r/t	なる	nar-an	nar-o	nar-ī	na-nna
r/t	売る	ur-an	ur-o	ur-ī	u-nna
r/t	作る	sukur-an	sukur-o	sukur-ī	suku-nna
r/t	移る	nawar-an	nawar-o	nawar-ī	nawa-nna
r/t	吠える	bur-an	—	bur-ī	bu-nna
r/t	降る	pur-an	—	—	—
r/t	踊る	wudur-an	wudur-o	wudur-ī	wudu-nna
r/t	戻る	modor-an	modor-o	modor-ī	modo-nna
r/t	もらう	yir-an	yir-o	yir-i	yi-nna
VVr/VVt	通る	tuur-an	tuur-o	tuur-ī	tu-nna
VVr/VVt	（人を）送る	uur-an	uur-o	uur-ī	u-nna
VVr/VVt	治る	noor-an	—	—	—
VVr/VVt	登る	noor-an	noor-o	noor-ī	no-nna
VVr/VVt	はかる	paar-an	paar-o	paar-ī	pa-nna
ir/ish	煮る	nir-an	nir-o	nir-i	ni-nna
ir/ish	座る	yir-an	yir-o	yir-i	yi-nna
ir/ich	走る	pashir-an	pashir-o	pashir-i	pashi-nna
k'ir/kich	着る	k'ir-an	k'ir-o	k'ir-i	k'i-nna
k'ir/kich	生きる	ik'ir-an	ik'ir-o	ik'ir-i	—
ir/icch	入る	ir-an	ir-o	ir-i	i-nna
ir/icch	要る	ir-an	—	—	—

表 11 動詞活用語例（クラスごと）⑥

	語幹分類	D	D	D	E	E
クラス	意味	非過去 1	非過去 2	不定形	過去 1	過去 2
g/j	漕ぐ	hug-yun	—	hug-i	huj-a	huj-i
g/j	泳ぐ	oog-yun	—	oog-i	ooj-a	ooj-i
g/j	掴む	ming-yun	—	ming-i	minj-a	minj-i
r/t	割る	war-yun	—	war-i	wat-a	wat-ī
r/t	借りる	har-yun	—	har-i	hat-a	hat-ī
r/t	なる	nar-yun	—	nar-i	nat-a	nat-ī
r/t	売る	ur-yun	ur-yuri	ur-i	ut-a	ut-ī
r/t	作る	sukur-yun	—	sukur-i	suku-ta	sukut-ī
r/t	移る	nawaryun	—	nawar-i	nawat-a	—
r/t	吠える	bur-yun	—	bur-i	but-a	but-ī
r/t	降る	pur-yun	—	—	put-a	—
r/t	踊る	wudur-yun	—	wudur-i	wudu-ta	—
r/t	戻る	modor-yun	—	modor-i	modo-ta	—
r/t	もらう	yir-yun	yir-yuri	yir-i	yit-a	yit-ī
V <sub>i</sub> V <sub>ir</sub> /V <sub>i</sub> V <sub>it</sub>	通る	tuur-yun	—	tuur-i	tuut-a	tuut-ī
V <sub>i</sub> V <sub>ir</sub> /V <sub>i</sub> V <sub>it</sub>	（人を）送る	uur-yun	—	uur-i	uut-a	uut-ī
V <sub>i</sub> V <sub>ir</sub> /V <sub>i</sub> V <sub>it</sub>	治る	noor-yun	—	noor-i	noot-a	noot-ī
V <sub>i</sub> V <sub>ir</sub> /V <sub>i</sub> V <sub>it</sub>	登る	noor-yun	—	noor-i	noot-a	noot-ī
V <sub>i</sub> V <sub>ir</sub> /V <sub>i</sub> V <sub>it</sub>	はかる	paar-yun	—	paar-i	paat-a	paat-ī
ir/ish	煮る	nir-yun	—	nir-i	nish-a	nish-i
ir/ish	座る	yir-yun	—	yir-i	yish-a	yish-i
ir/ich	走る	pashir-yun	—	pashir-i	pashich-a	pashich-i
k'ir/kich	着る	k'ir-yun	—	k'ir-i	kich-a	kich-i
k'ir/kich	生きる	ik'ir-yun	—	ik'ir-i	ikich-a	ikich-i
ir/icch	入る	ir-yun	—	ir-i	icch-a	icch-i
ir/icch	要る	ir-yun	—	ir-i	icch-a	icch-i

表 12 動詞活用語例（クラスごと）⑦

	語幹分類	A	B	B	C
クラス	意味	否定	意志	命令	禁止
bir/pich	括る	k'ubir-an	k'ubir-o	k'ubir-i	k'ubi-nna
bur/put	被る	habur-an	habur-o	habur-ī	habu-nna
bur/put	あぶる	abur-an	abur-o	abur-ī	abu-nna
bur/put	絞る	shibur-an	shibur-o	shibur-ī	shibu-nna
bur/put	吸う	shibur-an	shibur-o	shibur-ī	shibu-nna
bur/put	眠る	nībur-an	nībur-o	nībur-ī	nību-nna
tsīr/sīt	分かる	utsīr-an	—	—	—
tsīr/sīt	（脚が）つる	tsīr-an	—	—	—
zīr/sīt	えぐる	kaazīr-an	kaazīr-o	kaazīr-ī	kaazi-nna
gir/kich	握る	nigir-an	nigir-o	nigir-i	nigi-nna
gir/kich	沸騰する	tagir-an	—	—	—
gur/kut	回る	mugur-an	mugur-o	mugur-ī	mugu-nna
gur/kut	蹴る	hīttagur-an	hīttagur-o	hīttagur-ī	hīttagu-nna
or/osh	召し上がる	misho-ran	misho-ro	misho-rī	misho-nna
or/osh	眠る（尊敬）	yasīoran	—	yasīorī	yasīo-nna
oor/oosh	行く／来る（尊敬）	oo-ran	oo-ro	oo-rī	o-nna
oor/oot	居る（尊敬）	oo-ran	oo-ro	oo-rī	o-nna
V	出る	iji-ran	iji-ro	iji-rī	iji-nna
V	しまう	haji-ran	haji-ro	haji-rī	haji-nna
V	逃げる	pingi-ran	pingi-ro	pingi-rī	pingi-nna
V	投げる	nagī-ran	nagī-ro	nagī-rī	nagī-nna
V	外す	pazī-ran	pazī-ro	pazī-rī	pazī-nna
V	降りる	urī-ran	urī-ro	urī-rī	urī-nna
V	落ちる	utī-ran	—	—	—
V	捨てる	sītī-ran	—	—	—
V	教える	yusī-ran	yusī-ro	yusī-rī	yusī-nna

表 13 動詞活用語例（クラスごと）⑧

	語幹分類	D	D	D	E	E
クラス	意味	非過去 1	非過去 2	不定形	過去 1	過去 2
bir/pich	括る	k'ubir-yun	—	k'ubir-i	k'upich-a	k'upich-i
bur/put	被る	habur-yun	—	habur-i	haput-a	haput-i
bur/put	あぶる	abur-yun	—	abur-i	aput-a	aput-i
bur/put	絞る	shibur-yun	—	shibur-i	shiput-a	—
bur/put	吸う	shibur-yun	—	shibur-i	shiput-a	—
bur/put	眠る	nībur-yun	—	nībur-i	nīput-a	nīputī
tsīr/sīt	分かる	utsīr-yun	—	utsīr-i	usīt-a	usīt-i
tsīr/sīt	（脚が） つる	tsīr-yun	—	tsīr-i	sīt-a	sīt-i
zīr/sīt	えぐる	kaazīr-yun	—	kaazīr-i	kaasīt-a /kaazīt-a	kaasīt-i /kaazīt-i
gir/kich	握る	nigir-yun	—	nigir-i	nikich-a	nikich-i
gir/kich	沸騰する	tagir-yun	—	tagir-i	takich-a	takich-i
gur/kut	回る	mugur-yun	—	mugur-i	mukut-a	mukut-i
gur/kut	蹴る	hīttagur-yun	—	hīttagur-i	hīttakut-a	hīttakut-i
or/osh	召し上がる	misho-n	—	misho-i	mishosh-a	mishosh-i
or/osh	眠る（尊敬）	yasīo-n	—	yasīo-i	yasīosh-a	yasīosh-i
oor/oosh	行く／来る（尊敬）	oo-n	—	oo-i	oosh-a	oosh-i
oor/oot	居る（尊敬）	oo-n	—	oo-i	oo-ta	oo-tī
V	出る	iji-n	—	iji	iji-ta	iji-tī
V	しまう	hiaji-n	—	haji	haji-ta	haji-tī
V	逃げる	ping-n	—	pingi	pingi-ta	pingi-tī
V	投げる	nagī-n	—	nagī	nagī-ta	nagī-tī
V	外す	pazī-n	—	pazī	pazī-ta	pazī-tī
V	降りる	urī-n	—	urī	urī-ta	urī-tī
V	落ちる	utī-n	—	utī	utī-ta	utī-tī
V	捨てる	sītī-n	sītī-ri	—	sīt-ta	sītī-tī
V	教える	yusī-n	—	yusī	yusī-ta	yusī-tī

表 14 動詞活用語例（クラスごと）⑨

	語幹分類	A	B	B	C
クラス	意味	否定	意志	命令	禁止
V	破れる	yaburī-ran	—	—	—
V	割れる	warī-ran	—	—	—
V	くれる	k'urī-ran	—	—	—
V	覚める	sau-ran	—	—	—
V	溜める	tau-ran	tau-ro	tau-rī	tau-nna
V	浴びる	au-ran	au-ro	au-rī	au-nna
V	覚える	obē-ran	obē-ro	obē-rī	—
V	育てる	podē-ran	—	podē-rī	—
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	開ける	y'ee-ran	y'ee-ro	y'ee-rī	y'e-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	痩せる	yee-ran	yee-ro	yee-rī	ye-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	燃える	mēē-ran	—	—	—
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	分ける	wēē-ran	wēē-ro	wēē-rī	wē-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	探す	tuu-ran	tuu-ro	tuu-rī	tu-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	染める	suu-ran	suu-ro	suu-rī	su-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	褒める	huu-ran	huu-ro	huu-rī	hu-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	起きる	uu-ran	uu-ro	uu-rī	u-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	換える	hēē-ran	hēē-ro	hēē-rī	hē-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	肥える	k'wēē-ran	—	k'wēē-rī	k'wē-nna
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	植える	uu-ran	uu-ro	uu-rī	u-nna
特殊	居る	wu-ran	wu-ro	wu-rī	wu-nna
特殊	ある／ない	nēn	—	—	—
特殊	する	sī-ran	sī-ro	sī-rī	sī-nna
特殊	言う	y'-an	y'oo	ii	y'-una
特殊	見る	ny-an	nyoo	nii	ny-una
特殊	来る	ku-n	kuu	kuu	k-una

表 15 動詞活用語例（クラスごと）⑩

	語幹分類	D	D	D	E	E
クラス	意味	非過去 1	非過去 2	不定形	過去 1	過去 2
V	破れる	yaburī-n	—	yaburī	yaburī-ta	yaburī-tī
V	割れる	warī-n	—	warī	warī-ta	warī-tī
V	くれる	k'urī-n	k'urī-ri	—	k'urī-ta	k'urī-tī
V	覚める	sau-n	—	sau	sau-ta	sau-tī
V	溜める	tau-n	—	tau	tau-ta	tau-tī
V	浴びる	au-n	—	au	auta	au-tī
V	覚える	obē-n	—	obē	obē-ta	obē-tī
V	育てる	podē-n	—	podē	pode-ta	podē-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	開ける	y'ee-n	—	y'ee	y'ee-ta	y'ee-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	痩せる	yee-n	—	yee	yee-ta	yee-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	燃える	mēē-n	—	mēē	mēē-ta	mēē-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	分ける	wēē-n	—	wēē	wēē-ta	wēē-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	探す	tuu-n	—	tuu	tuu-ta	tuu-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	染める	suu-n	—	suu	suu-ta	suu-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	褒める	huu-n	—	huu	huu-ta	huu-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	起きる	uu-n	—	uu	uu-ta	uu-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	換える	hē-n	—	hēē	hēē-ta	hēē-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	肥える	k'wē-n	—	k'wēē	k'wēē-ta	k'wēē-tī
V <sub>i</sub> V <sub>i</sub>	植える	u-n	—	uu	uu-ta	uu-tī
特殊	居る	wu-n	wuur-i	wur-i	wu-ta	wu-tī
特殊	ある／ない	a-n	aar-i	ar-i	a-ta	a-tī
特殊	する	sh-un	—	shii	sh-a	shi
特殊	言う	y'-un	—	ii	ish-a	ish-i
特殊	見る	n-yun	—	nii	nish-a	nish-i
特殊	来る	k-yun	k-yuuri	kii	kich-a	kich-i



表に示した接辞の異形態の分布は以下(10)の通りである。その他の接辞は、初頭音が同じである接辞に準じた異形態を示す<sup>vii</sup>。

- (10) a. 否定—in/ik/ink/ing 語幹：yan、それ以外の子音語幹：an、Iタイプ母音語幹：n、  
それ以外の母音語幹：ran
- b. 命令—in/ik/ink/ing/ir 語幹：i、それ以外の子音語幹：i、Iタイプ u 語幹：i、  
Iタイプのその他の母音語幹：u、それ以外の母音語幹：ri、
- c. 意志—in/ik/ink/ing 語幹：yo、それ以外の子音語幹：o、Iタイプ母音語幹：o、  
それ以外の母音語幹：ro
- d. 禁止—in/ik/ink/ing 語幹：yuna、s 語幹：ina、それ以外の子音語幹：una、  
Iタイプ母音語幹：una、それ以外の母音語幹：nna
- e. 非過去(1)—sh/ch 語幹：un、それ以外の子音語幹：yun、Iタイプ母音語幹：yun、  
それ以外の母音語幹：n
- f. 不定—子音語幹：i、I/IIIタイプ母音語幹：i、それ以外の母音語幹：φ
- g. 過去(1)—子音語幹：a、母音語幹：ta
- h. 過去(2)—sh/ch/j 語幹：i、それ以外の子音語幹：i、母音語幹：ti、

### 3.2 動詞の構造と活用語例

拘束形式に付き語を閉じうる接辞を屈折接辞と認定し、活用形の構造を示すと、以下(11)～(13)のようになる。

#### (11) 定動詞 (主節及び単文の主動詞)

- a. 語幹 — ムード接辞
- b. 語幹 — 極性接辞
- c. 語幹 — (極性接辞) — テンス接辞
- d. 語幹 — (極性接辞) — テンス接辞 — ムード接辞

#### (12) 連体動詞 (名詞の修飾部)

- a. 語幹 — (極性接辞) — (テンス接辞) — 連体接辞
- b. 語幹 — 連体接辞

#### (13) 副動詞 (動詞/節の修飾部)

- a. 語幹 — 副動詞接辞
- b. 語幹 — (極性接辞) — 副動詞接辞
- c. 語幹 — (極性接辞) — (テンス接辞) — 副動詞接辞

以下、表 16 に a/d クラスの ka-「食べる」と V クラスの urī-「降りる」を例に活用語例を示す。

表 16 動詞活用語例（構造・接辞ごと）

機能ラベル		日本語訳	食べる	降りる
命令		～しろ	ka-u	uri-rī
禁止		～するな	ka-una	uri-nna
意志		～しよう	ka-o	uri-ro
直説	非過去 1	～する	ka-yun	uri-n
	非過去 2	～する	ka-yuri	uri-ri
	否定（非過去）	～しない	ka-n	uri-ran
	過去 1	～した	kad-a	uri-ta
	過去 2	～した	kad-ī	uri-tī
	否定-過去 1	～しなかった	ka-n-ta	uri-ran-ta
	否定-過去 2	～しなかった	ka-n-tī	uri-ran-tī
推量	非過去	～するだろう	ka-yu-ro	uri-ro
	過去	～しただろう	kad-a-ro	uri-ta-ro
	否定-過去	～しなかっただろう	ka-n-ta-ro	uri-ran-ta-ro
疑問詞疑問	非過去	～する	ka-yu-rye	uri-rye
連体 1	非過去	～する	ka-yu-n	uri-n
	否定（非過去）	～しない	ka-n	uri-ran
	過去	～した	kad-a-n	uri-ta-n
	否定-過去	～しなかった	ka-n-ta-n	uri-ran-ta-n
連体 2		～する	ka-o	uri-ro
不定		～し	ka-i	uri
同時		～しながら	ka-igacchana	uri-gacchana
目的		～しに	ka-iga	—
期間		～するあいだ	ka-oda	—
状況		～したら	kad-attu	uri-tattu
中止		～して	kad-ī	uri-tī
	否定	～せずに	ka-a-zī	uri-ra-zī
並列		～したり	kad-ari	uri-tari
	否定	～しなかったり	ka-n-tari	uri-ran-tari
条件	非過去	～すれば	ka-uba	uri-rība
	否定（非過去）	～しなければ	ka-n-ba	uri-ran-ba
	過去	～したら	kad-a-rība	uri-ta-rība
	否定-過去	～しなかったら	ka-n-ta-rība	uri-ran-ta-rība

接辞にさらに接辞が後続する場合の異形態について、語幹に直接後続する場合と異なる点は、以下(14)の通りである。

- (14) a. 過去接辞／並列接辞は、否定接辞のあとで、初頭に t を持つ異形態で現れる。  
 b. 中止接辞は否定接辞のあとで zi で現れる。  
 c. 非過去接辞は、ムード接辞／連体接辞／条件接辞の前では、末尾の n/ri が削除された異形態で現れる。よって、タイプ I 以外の母音語幹では  $\varnothing$  になる。  
 d. 否定接辞は、連体接辞／中止接辞の前では末尾の n を伴わない異形態で現れる。  
 a/d クラスでは連体接辞の前では  $\varnothing$ 、中止接辞の前では a で現れる。

以下に、動詞の活用形を含む文例を示す。

(15) 動詞：命令形

un k'washi ka-u.  
 この菓子 食べる-imp  
 この菓子を食べろ。

(16) 動詞：禁止形

nuu=yashima ka-una.  
 何=も 食べる-PROH  
 何も食べるな。

(17) 動詞：意志形

un k'washi=ya wa-ttari=shi ka-o.  
 この菓子=TOP 1-DU=INST 食べる-INT  
 この菓子は私達 2 人で食べよう。

(18) 動詞：非過去形 (1)

napa=n c'hu=ya nabura ka-yun.  
 那覇=GEN 人=TOP ヘチマ 食べる-NPST  
 沖縄の人はヘチマを食べる。

(19) 動詞：非過去形 (2)

yanaka ka-yuri=ya.  
 たくさん 食べる-NPST=SFP  
 たくさん食べるなあ。

(20) 動詞：否定（非過去）形

yagi=ya kabi=ba=ya ka-n.  
ヤギ=TOP 紙=ACC=TOP 食べる-NEG.NPST  
ヤギは紙は食わない。

(21) 動詞：過去形（1）

nēsari=ya yaa=nanti kad-a.  
朝食=TOP 家=LOC 食べる-PST  
朝食は家で食べた。

(22) 動詞：過去形（2）

y'a an k'washi kad-ī(=na)?  
2.SG あの 菓子 食べる-PST(=YNQ)  
お前あの菓子食べた？

(23) 動詞：過去形（2）

an k'washi taru=ga kad-ī(=urī)?  
あの 菓子 誰=NOM 食べる-PST(=WHQ)  
あの菓子誰が食べた？

(24) 動詞：否定過去形（1）

ak'ia=ya mun ka-n-ta=ga.  
アキラ=TOP ご飯 食べる-NEG-PST=SFP  
アキラはご飯を食べなかったよ。

(25) 動詞：否定過去形（2）

y'a un k'washi ka-n-tī?  
2.SG この 菓子 食べる-NEG-PST  
お前このお菓子食べなかった？

(26) 動詞：否定過去形（2）

taru=ga ka-n-tī=urī?  
誰=NOM 食べる-NEG-PST=WHQ  
誰が食べなかった？

(27) 動詞：非過去推量形

un k'washi ka-yu-ro.  
この 菓子 食べる-NPST-INFR  
このお菓子を食べるだろう。

## (28) 動詞：過去推量形

n'aa mun ka-da-ro.  
 もう ご飯 食べる-PST-INFR  
 もうご飯を食べただろう。

## (29) 動詞：否定過去推量形

mun ka-n-ta-ro.  
 ご飯 食べる-NEG-PST-INFR  
 ご飯を食べなかつたろう。

## (30) 動詞：非過去疑問詞疑問形

un k'washi=ya taru=ga ka-yu-rye?  
 この 菓子=TOP 誰=NOM 食べる-NPST-WHQ  
 このお菓子は誰が食べる？

## (31) 動詞：非過去連体形 (1)

y'a=ga ka-yu-n k'washi=ya durī=urī?  
 2.SG=NOM 食べる-NPST-ADN 菓子=TOP どれ=WHQ  
 お前が食べる菓子はどれ？

## (32) 動詞：否定（非過去）連体形 (1)

k'washi ka-n c'hu=ya taru=urī?  
 菓子 食べる-NEG.NPST.ADN 人=TOP 誰=WHQ  
 菓子を食べない人は誰？

## (33) 動詞：過去連体形 (1)

y'a=ga kad-a-n k'washi=ya durī=urī?  
 2.SG=NOM 食べる-PST-ADN 菓子=TOP どれ=WHQ  
 お前が食べた菓子はどれ？

## (34) 動詞：否定過去連体形 (1)

k'washi ka-n-ta-n c'hu=ya taru=urī?  
 菓子 食べる-NEG-PST-ADN 人=TOP 誰=WHQ  
 菓子を食べなかつた人は誰？

## (35) 動詞：連体形 (2)

y'a=ga doku=chi y'-an-ta-rība abunī ka-o pazi  
 2.SG=NOM 毒=QUOT 言う-NEG-PST-COND あやうく 食べる-ADN はず  
 お前が毒だと言わなければ危なく食べるどころだった。

(36) 動詞：連体形 (2)

abunī ya-yu-n poro=chi ir-o pazi.  
 あやうく 痛い-NPST-ADN 風呂=ALL 入る-ADN はず  
 あやうく熱湯風呂に入るところだった。

(37) 動詞：連体形 (2)

nada=nu uti-ro=gari yuruk'ud-a.  
 涙=NOM 落ちる-ADN=LMT 喜ぶ-過去  
 涙が落ちるほど喜んだ。

(38) 動詞：連体形 (2)

un posha=ya udurunk-o=gari k'iri-ri.  
 この 包丁=TOP 驚く-ADN=LMT 切れる-NPST  
 この包丁は驚くほど切れる。

(39) 動詞：不定形

ka-i=daka si-ran.  
 食べる-INF=ADD する-NEG.NPST  
 食べもしない。

(40) 動詞：同時形

aki'ra=tu mun ka-igacchana panashi sha.  
 アキラ=COM ご飯 食べる-SIM 話 する.PST  
 アキラとご飯を食べながら話をした。

(41) 動詞：目的形

nazē=chi mun ka-iga ik-yo.  
 名瀬=ALL ご飯 食べる-PURP 行く-INT  
 名瀬にご飯を食べに行こう。

(42) 動詞：期間形

ka-oda macch-ur-ī.  
 食べる-あいだ 待つ-PROG-IMP  
 食べるあいだ待っている。

(43) 動詞：状況形

kad-attu wata+yaburī sha.  
 食べる-CIRC 腹+壊れる-INF する.PST  
 食べたらお腹を壊した。

## (44) 動詞：中止形

(maya=nu) y'u kad-ī sugu pingi-ta.  
 (猫=NOM) 魚 食べる-MED すぐ 逃げる-PST  
 (猫が) 魚を食って、すぐに逃げた。

## (45) 動詞：否定中止形

p'an=ya ka-a-zī gyuunyuu=bari nud-at-a-n=do.  
 パン=TOP 食べる-NEG-MED 牛乳=だけ 飲む-RES-PST-NMLZ=ASSR  
 パンは食べずに、牛乳だけ飲んであったよ。

## (46) 動詞：列挙形

kad-ari nud-ari sī-rība nudī=nu ya-yun.  
 食べる-LIST 飲む-LIST する-COND 喉=NOM 痛い-NPST  
 食べたり飲んだりすると喉が痛い。

## (47) 動詞：条件形

mun ka-uba podē-kka.  
 ご飯 食べる-NPST.COND 育つ-NPST.SFP  
 ご飯を食べたら大きくなるよ。

## (48) 動詞：否定条件形

ka-m-ba dai podē-k'ir-an=do.  
 食べる-NEG-COND 大きく 育つ-POT-NEG=ASSR  
 食べないと大きくなれないよ。

## (49) 動詞：過去条件形

kad-a-rība hēkku nību-rī.  
 食べる-PST-COND 早く 眠る-IMP  
 食べたなら早く寝ろ。

## (50) 動詞：否定過去条件形

sak'i ka-n-ta-rība n'aa ka-u.  
 さっき 食べる-NEG-PST-COND 今 食べる-IMP  
 さっき食べなかったなら今食べろ。

## 4 形容詞

## 4.1 形容詞の形態統語的特徴

形容詞について、以下(51)に示すように、大部分は基本的な語形の末尾が ka である。現時点で見つかっている末尾が ka 以外の例は(52)に示したもののみである(上野 1997 に

も同様の指摘がある)。

(51) taaka 「高い」、c'huuka 「強い」、pëëka 「はやい」、yasika 「安い」、ikiraka 「少ない」、  
pooraka 「嬉しい」、uturuka 「怖い」

(52) yiccha 「良い」、pusha 「欲しい」、wassa 「悪い」、makisa～makika 「大きい」

上記の基本的な形で述語、副詞的にも用いられる (例(53),(54)参照)。活用が限られており (非過去接辞、ムード接辞、理由形接辞-*nu*<sup>viii</sup>、連体形接辞-*n/(r)(y)o* のみ、例(55)～(60)参照)、相当する活用形がない場合は、助動詞 *ar-*が後続し、助動詞が (存在動詞 *ar-*に準じて) 活用する (例 61～参照)。

(53) 形容詞：基本形 (述語)

taroo=ya pagi=nu pëëka.  
太郎=TOP 足=GEN 速い  
太郎は足が速い。

(54) 形容詞：基本形 (動詞修飾)

napun pëëka pashi-ri.  
もっと 早く 走る-IMP  
もっと早く走れ。

(55) 形容詞：非過去形 (2)

wan=ya zīn=nu pusha-ri  
1.SG=TOP 金=NOM 欲しい-NPST  
私はお金が欲しい。

(56) 形容詞：非過去形 (2)

ak'ira=ya ututu=nika tēē=nu taaka-ri.  
アキラ=TOP 弟=CMPR 背丈=NOM 高い-NPST  
アキラは弟より背が高い。

(57) 形容詞：非過去推量形

an m'a=ya pashir-i=nu pëëka-ro.  
あの ウマ=TOP 走る-NMLZ=NOM 早い-INFR  
あのウマは走りが速いだろう。



## (58) 形容詞：非過去疑問詞疑問形

un naa=nantī taru=ga pashir-i=nu pēēka-rye?  
 この 中=LOC 誰=NOM 走る-NMLZ=NOM 早い-NPST.WHQ  
 この中でだれが走りが早い？

## (59) 形容詞：理由形

taroo=ya pagi=nu pēēka-nu wakya=shi=ya usik-ik'ir-an.  
 太郎=TOP 足=GEN 速い-CSL 私.APPR=INST=TOP 追いつく-ABL-NEG  
 太郎は足が速くて私なんかでは追いつけない。

## (60) 形容詞：非過去連体形 (1)

pasin-i=nu pēēka-n c'hu=nu onaoka.  
 走る-NMLZ=GEN 速い-ADN 人=NOM うらやましい  
 走りが速い人がうらやましい。

## (61) 形容詞：連体形 (2)

asika-ro uchi ka-u.  
 熱い-ADN うち 食べる-IMP  
 熱いうちに食べろ。

## (62) 形容詞：連体形 (2)

inaka-ro uchi=ya ton yanaka ka-yu-ta-n  
 小さい-ADN うち=TOP サツマイモ たくさん 食べる-HAB-PST-NMLZ  
 ja=ga.  
 COP.NPST=AC  
 小さい頃はサツマイモをたくさん食べていたんだが。

## (63) 形容詞＋助動詞：否定形

jiroo=ya pashir-i=ya asshi=garī pēēka nēn=do.  
 ジロウ=TOP 走る-NMLZ=TOP そう=まで 速い AUX.NEG.NPST=ASSR  
 ジロウはそれほど足が速くないよ。

## (64) 形容詞＋助動詞：過去形 (1)

mukashi=ya wan=daka pashir-i=nu pēēka a-ta.  
 昔=TOP 私=ADD 走る-NMLZ=NOM 速い AUX-PST  
 昔は私も走りが速かった。

(65) 形容詞＋助動詞：条件形

napun pasir-i=nu pëëka ar-iba usik-yu-ta-n=ba.  
 もっと 走る-NMLZ=NOM 早い AUX-NPST.COND 追いつく-CF-PST-ADN=AC  
 もっと走りが早ければ追いついたのに。

(66) 形容詞＋助動詞：列举形

taroo=ya uu-n=nu pëëka at-ari yodeka at-ari sh-un.  
 タロウ=TOP 起きる-NPST.NMLZ=NOM 早い AUX-LIST 遅い AUX-LIST する-NPST  
 タロウは起きるのが早かったり遅かったりする。

#### 4.2 ナ形容詞相当の形式について

ナ形容詞（形容動詞／第2形容詞）相当のものとして、連体接辞-nan をとって名詞修飾に用いられる形式が見られる。述語では名詞に準じた振る舞いを示し、コンピュータが後続しうる（以下例参照）。

(67) 形容詞（ナ形容詞相当）：連体形

uri=ya dak'u-nan shigutu ja.  
 これ=TOP 楽-ADN 仕事 COP.NPST  
 これは楽な仕事だ。

(68) 形容詞（ナ形容詞相当）＋コンピュータ：非過去形

un shigutu=ya dak'u ja.  
 この 仕事=TOP 楽 COP.NPST  
 この仕事は楽だ。

(69) 形容詞（ナ形容詞相当）＋コンピュータ：否定（非過去）形

un shigutu=ya dak'u a-ran=do.  
 この 仕事=TOP 楽 COP-NEG=ASSR  
 この仕事は楽ではないよ。

(70) 形容詞（ナ形容詞相当）＋コンピュータ：過去形（1）

mae=nu shigutu=ya dak'u a-ta.  
 前=GEN 仕事=TOP 楽 COP-PST  
 前の仕事は楽だった。

(71) 形容詞（ナ形容詞相当）＋コンピュータ：非過去推量形

cigi=nu shigutu=ya kishitu dak'u dar-o.  
 次=GEN 仕事=TOP きっと 楽 COP-INFR  
 次の仕事はきっと楽だろう。

## 補足資料 会話例

本節では、方言による会話の例を報告する。1つ目は、友人の家に鋤を借りにいった場面の会話の例、2つ目は、鋤を返しに来た場面の会話の例である。

- (1) α: k-yoor-o            k-yoor-o  
 来る-POL-INT      来る-POL-INT  
 ごめんください、ごめんください。
- (2) β: hoo    nuga    dar-yo-n?  
 はい    なぜ    COP-POL-NPST  
 はい、なんですか？
- (3) α: yee.    wan=ya    na-kya    yaa=chi  
 はい    1.SG=TOP    2.HON-PL    家=ALL  
 はい。わたしはお宅に
- (4) α: soodan s-iga            k-yoo-tan=ba  
 相談    する-PURP    来る-POL-PST=AC  
 相談しに来たんですが。
- (5) β: nuga    dar-yo-kkēi?  
 なぜ    COP-POL-NPST.DUB  
 为什么呢。
- (6) α: wa-kya=n    k'wa=nu    huu    gakkoo    yasīmi=cch-un=kana  
 1-PL=GEN    子=NOM    今日    学校    休み=QUOT.言う-NPST=CSL  
 うちの子が今日学校休みというから
- (7) α: patē    asika-oo=chi            oot-i            shan=ba  
 畑    耕す-INT=QUOT    思う-MED    する.PST=AC  
 畑を耕そうと思ったんだけど
- (8) α: wa-kya=ya    toogē=nu    t'aatsi=shika    nee-zī  
 1-PL=TOP    鋤=NOM    2つ=しか    ある.NEG-MED  
 うち鋤が2つしかなくて
- (9) α: k'wa=n    tau    toogē=nu    nee-zī  
 子=GEN    ため    鋤=NOM    ある.NEG-MED  
 子どもの分鋤がなくて

- (10) α: toogë har-iga k-yoo-ta-n ja=ga  
 鋤=NOM 借りる-PURP 来る-POL-PST-NMLZ COP.NPST=AC  
 鋤を借りに来たんですが
- (11) α: toogë=nu ar-ība har-ash-i k'urī-ran=kēi  
 鋤=NOM ある-COND 借りる-CAUS-MED BEN-NEG.NPST=DUB  
 鋤があったら貸してくれませんかね。
- (12) β: toogë=tu t'aamata=tu a-n ja=ga  
 鋤=COM 二股(の鋤)=COM ある-NPST.NMLZ COP.NPST=AC  
 鋤と二股の鋤とあるのだけれど
- (13) β: durī=ga iccha-kkēi?  
 どれ=NOM 良い-NPST.DUB  
 どちらがいいかな。
- (14) α: nar-ība=ya toogë=nu ar-ība=ya  
 COP-COND=TOP 鋤=NOM ある-NPST.COND=TOP  
 それなら鋤があれば
- (15) α: toogë har-ash-i k'urī-shor-ë  
 鋤 借りる-CAUS-MED BEN-HON-IMP  
 鋤を貸してください。
- (16) β: assa toogë mucch-ij-i yanaka patë  
 CONJ 鋤 持つ-ていく-MED たくさん 畑  
 では鋤を持って行って、たくさん畑を
- (17) β: asikaw-ash-un=nishi shi oor-ī  
 耕す-CAUS-NPST=MAN する.MED 来る.HON-IMP  
 耕させるようにしてきてください。
- (18) α: toogë daa=nantī ar-yo-kkēi?  
 鋤 どこ=LOC ある-POL-NPST.DUB  
 鋤はどこにありますかね。
- (19) β: sooko=nantī a-n=kana du=shi tuu-tī  
 倉庫=LOC ある-NPST=CSL REFL=INST 探す-MED  
 倉庫にあるので自分で探して

- (20)β: mucch-i oor-ī  
持つ-MED 行く.HON-IMP  
持って行ってください
- (21)α: yaduri yanshiro=nu yaduri-gwa dar-yo-n=ya?  
小屋 家の後=GEN 小屋-DIM COP-POL-NPST=SFP  
小屋、家の後の小屋ですね。
- (22)β: yaduri-gwa ja=ga  
小屋 COP.NPST=SFP  
小屋だよ。
- (23)α: assa yaduri=raga du=shi tuu-tī  
では 小屋=ABL REFL=INST 探す-MED  
では小屋から自分で探して
- (24)α: hat-īk-yun=kana har-ash-i k'urī-shor-ī=yo  
借りる-ていく-NPST=CSL 借りる-CAUS-MED BEN-HON-IMP=SFP  
借りていくので貸してくださいね。
- (25)β: hai yanaka k'wa=nkya yanaka  
はい たくさん 子ども=APPR たくさん  
はい、たくさん、子どもなんか、たくさん
- (26)β: sika-uba yiccha-kka  
使う-COND 良い-NPST.SFP  
使えばいいよ。
- (以降 2 つ目の場面)
- (27)α: k-yoor-o  
来る-POL-INT  
ごめんください。
- (28)β: nuga dar-yo-kkēi?  
なぜ COP-POL-NPST.DUB  
为什么呢。

- (29) α: yee piru=nkya arigatosama ar-yoo-ta  
 はい 昼=APPR ありがとう COP-POL-PST  
 はい、昼はありがとうございました。
- (30) β: ai ai  
 いいえ いいえ  
 いいえ、いいえ。
- (31) α: na-kya=n toogë=nu okagë=shi yanaaka  
 2.HON-PL=GEN 鍬=GEN おかげ=INST たくさん  
 お宅の鍬のおかげでたくさん
- (32) α: patë=nu asikaw-att-ï n'aa shigutu=nu dachiash-i  
 畑=NOM 耕す-POT-MED もう 仕事=NOM 捗る-MED  
 畑が耕せて、もう仕事ははかどって
- (33) α: hagë tasïkar-yoo-ta arigatënan sabak'uri  
 INTJ 助かる-POL-PST ありがたい こと  
 助かりました。ありがたいこと
- (34) α: hontoni arigatësaa<sup>ix</sup> ar-yoo-ta  
 本当に ありがとう COP-POL-NPST  
 本当にありがとうございました。
- (35) β: ai ai asshi=gari=ya kaam-an=ga  
 いえ いえ そう=まで=TOP 構う-NEG.NPST=SFP  
 いいえ、そうまでは
- (36) β: yaa=chi noot-ï chaa=nunkya nud-ï oor-ï  
 家=ALL 上がる-MED 茶=APPR 飲む-MED 行く.HON-IMP  
 家に上がってお茶など飲んでいきなさい。
- (37) α: arigatënan panashi ar-i=ya sh-ukka  
 ありがたい 話 COP-INF=TOP する-NPST.AC  
 ありがたい話ではあるけれど
- (38) α: n'aa ya ij-ï mata yuuban ka-n-ba=ya  
 もう 家 行く-MED また 夕飯 食べる-NEG-COND=TOP  
 もう、家に行ってもまた夕飯を食べないと

- (39) α: iky-an                      dar-o  
 いく -NEG.NPST.NMLZ    COP.NPST-INFR  
 いけないだろう。
- (40) α: kīnzuk'u=nu    macch-u-n=kana              ya    ij-i              mun=kya  
 家族=NOM    待つ-PROG-NPST=CSL    家    行く-MED    ご飯=APPR  
 家族が待っているのだから家に行ってごはんを
- (41) α: ka-yun=nishi shi              mata=nkya    maat-ī              k-yoo-ro=i  
 食べる-NPST=MAN    また=APPR    回る-MED    来る-POL-INT=SFP  
 食べることにして、また、まわって来ますね。
- (42) α: huu=nkya              doomo    piru=nkya    arigatosama    ar-yoo-ta  
 今日=APPR    どうも    昼=APPR    ありがとう    COP-POL-PST  
 今日はどうもお昼はありがとうございました。
- (43) β: ai              ai              assa              mata    yuuji=nu              a-n                      duk'i=ya  
 いえ    いえ    では    また    用事=NOM    ある-NPST.ADN    とき=TOP  
 いえいえ、では、また用事があるときは
- (44) β: har-iga                      kuu=yo  
 借りる-PURP    来る.IMP=SFP  
 借りに来てね。
- (45) α: arigatēnan              un              duk'i    mata    soodan    nat-ī                      k'urī-shor-ē  
 ありがたい    その    とき    また    相談    なる-MED    BEN-HON-IMP  
 ありがたい。その    とき、また、相談に乗ってください。

## グロス略号一覧

1	first person	一人称	INT	intentional	意志
2	second person	二人称	INTJ	interjection	感動詞
ABL	ablative	奪格	LIST	listing	列挙
AC	adversative conjunction	逆説	LMT	limitative	限界格
ACC	accusative	対格	LOC	locative	所格
ADD	additive	添加	MAN	manner	様態
ADN	adnominal	連体	MED	medial	中止
ALL	allative	方向格	NEG	negation	否定
APPR	approximative	曖昧	NMLZ	nominalizer	名詞化
ASSR	assertive	断定	NOM	nominative	主格
AUX	auxiliary	助動詞	NPST	non-past	非過去
BEN	benefactive	受益	PL	plural	複数
CAUS	causative	使役	POL	polite	丁寧
CF	counterfactual	反事実	POT	potential	可能
CIRC	circumstantial	状況	PROG	progressive	進行
CMPR	comparative	比較	PROH	prohibitive	禁止
COM	comitative	共格	PST	past	過去
COND	conditional	条件	PURP	purposive	目的
COP	copula	コピュラ	QUOT	quotative	引用
CSL	causal	理由	REFL	reflexive	再帰
DIM	diminutive	指小辞	RES	resultative	結果
DU	dual	双数	SFP	sentence final particle	文末助詞
DUB	dubitative	疑念	SIM	simultaneous	同時
GEN	genitive	属格	SG	singular	単数
HAB	habitual	習慣	TOP	topic	主題
HON	honorific	尊敬	WHQ	wh-question	疑問詞疑問
IMP	imperative	命令	YNQ	yes-no question	真偽疑問
INF	infinitive	不定	+		複合境界
INFR	inferential	推量	-		接辞境界
INST	instrumental	具格	=		接語境界
INF	infinitive	不定	+		複合境界



- <sup>i</sup> 国土地理院発行の地図データをもとに Thomas Pellard 氏が作成した地図を編集した。
- <sup>ii</sup> また、先行研究で明示的に言及されていないが、語頭が  $VkV$  に遡る形式に生じた音変化が佐仁方言と奄美大島北部の他の方言とでは異なっている(例 佐仁方言:  $[ʔa:ka]$ 「赤い」、 $[ʔje:n]$ 「開ける」、他方言:  $[ha:sa\sim ha:ka]$ 「赤い」、 $[ϕ\ddot{e}n]$ 「開ける」)。
- <sup>iii</sup> 狩俣 (2003) は、 $\text{ĩ}$ ,  $\text{ã}$ ,  $\text{õ}$ ,  $\text{ẽ}$ , の 4 つの鼻母音を音素として立てているが、調査した中で鼻母音を持つのは 80 代~90 代の数人であったと報告している。
- <sup>iv</sup> 2017 年 2 月~2019 年 2 月に断続的に行った、佐仁集落出身・在住の安田重照氏 (昭和 13 年生)、安田絹枝氏 (昭和 18 年生)、前田和郎氏 (昭和 15 年生)、前田幸代氏 (昭和 14 年生) への聞き取り調査である。本稿では主に安田重照氏と安田絹枝氏への調査で得たデータを用いている。JSPS 科研費 15K16754、15J02695、及び国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(プロジェクトリーダー|木部暢子)の助成を受けて行った調査のデータを含む。
- <sup>v</sup> 小川 (2015) のアルファベット表記に基づく。ただし、 $rje[rie]$ を加えている。また、文末の音声上の長母音は短母音で表記している。
- <sup>vi</sup> I~IV のタイプについて、I は他方言で子音語幹動詞/強変化動詞として分類されているもののうち  $r$  語幹以外のもの、II は他方言で子音語幹動詞/強変化動詞として分類されている  $r$  語幹動詞、III は尊敬動詞、IV は他方言で母音語幹動詞/弱変化動詞として分類されているものである。また、A~E の語幹について、A/B/C は他方言の基本語幹、D は連用語幹、E は音便語幹に対応する。
- <sup>vii</sup> ただし、条件接辞が  $u$  を末尾に持つ語幹につく場合、異形態  $iba$  ではなく  $uba$  が現れる(例:  $nu-uba$  飲む-COND「飲めば」)。
- <sup>viii</sup> 自由形式につくので助詞と分析する可能性もあるが、形容詞のみにつくため本稿では接辞に分類する。
- <sup>ix</sup>  $arigatosama$   $aryoota$  よりも  $arigat\ddot{e}saa$   $aryoota$  のほうがより古い佐仁方言独特の表現である。

## 参考文献

- ・ 上野善道 (1996) 「奄美大島佐仁方言のアクセント調査報告—名詞の部」『琉球の方言』 20:26-57.
- ・ 上野善道 (1997) 「奄美大島佐仁方言のアクセント調査報告—用言の部」『琉球の方言』 21:1-42.
- ・ 小川晋史 (編) (2015) 『琉球のことばの書き方』東京:くろしお出版.
- ・ 狩俣繁久 (2003) 『奄美大島笠利町佐仁方言の音声と語彙』京都:中西印刷.
- ・ 重野裕美 (2014) 「北琉球奄美大島佐仁方言の敬語形式」『広島経済大学論集』 36(4): 75-85.
- ・ 重野裕美・白田理人 (2018) 「北琉球奄美大島笠利佐仁方言の尊敬動詞について」『琉球の方言』 42: 25-59.
- ・ 白田理人 (2018) 「鹿児島県奄美大島佐仁方言」『文化庁委託事業報告書 平成 29 年度 危機的な状況にある言語・方言のアーカイブ化を想定した実地調査研究』 pp. 177-180.